

南部近隣センター リノベーション事業 第1回ワークショップ

みんなで創ろう！使いやすく地域の誇りとなる近隣センター

南部近隣センターの未来を考える！

2017年10月21日

本日の内容

ステップ 1 あいさつ

ステップ 2 事業スケジュールと
ワークショップの位置づけ

ステップ 3 「私が参加した理由は……」

ステップ 4 南部近隣センターの今までと
これからを語ろう！

ステップ 5 全体発表と質疑応答

ステップ 1

あいさつ

ステップ 2

事業スケジュールと
ワークショップの位置づけ

リノベーションの説明と 事業スケジュール

南部近隣センターリノベーションモデル事業とは

①大規模改修をして、

南部近隣センターを新しく生まれ変わらせます！
今後30年の使用を想定した長寿命化

②これからのニーズに合うように、

機能や設備を見直します！
これまでは「ふるさと柏」を身近に感じてもらうための施設…
これからは??

③みなさんのアイデアで、

多くの人や団体が集える施設にしましょう！

リノベーションの範囲

◇南部近隣センター本館の大規模改修です。
(体育館や公園は対象ではありません。)

◇本館周辺はバリアフリー改修を行います。

◇大規模改修に次の工事を含みます。

- ・エレベーターの設置
- ・耐震補強
- ・内装改修(間仕切りの変更を含みます)
- ・外壁塗装
- ・設備改修(電気、照明、空調、給排水等)

リノベーションでめざすこと

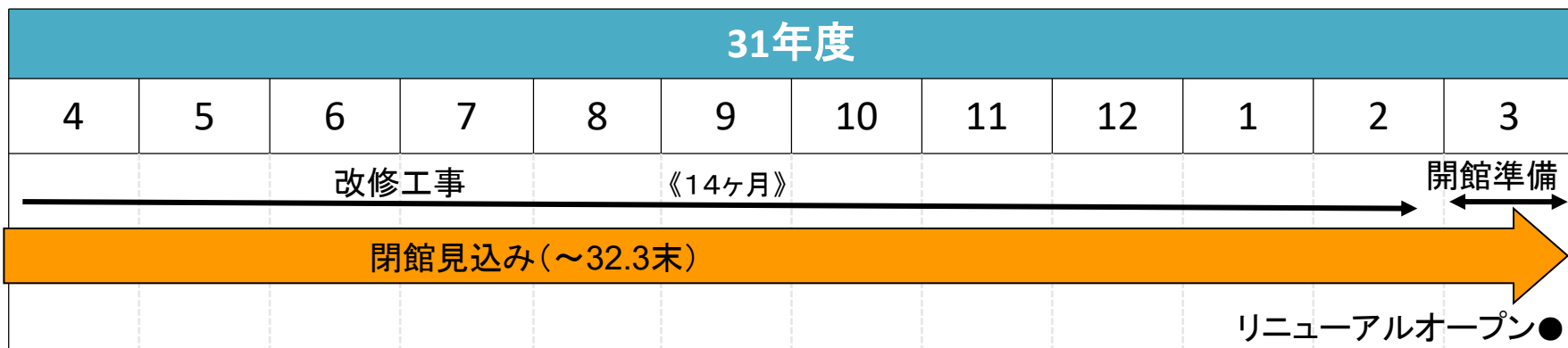
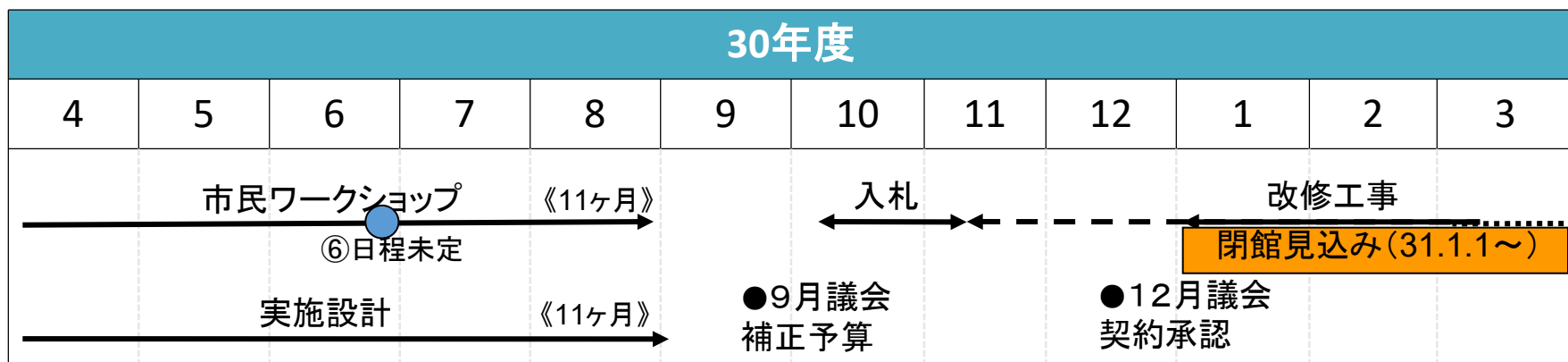
「必要な機能や施設はなんだろう」
「使いたくなる・来たくなるセンターになるには」

◇皆さんの話し合いが反映された
新しい間取り(平面図)を作成します。

◇近隣センターの開館日、開館時間等は変更しません。新しくできる会議室等の使用料は、広さに基づき
条例で制定します。

主な事業 スケジュール

(H29年度10月時点)



※事業の進行に伴い、変更となる場合があります

閉館について

◇工事期間中、南部近隣センターは閉館します。

◇閉館期間は、平成31年1月から32年3月末(15ヶ月間)を予定しています。

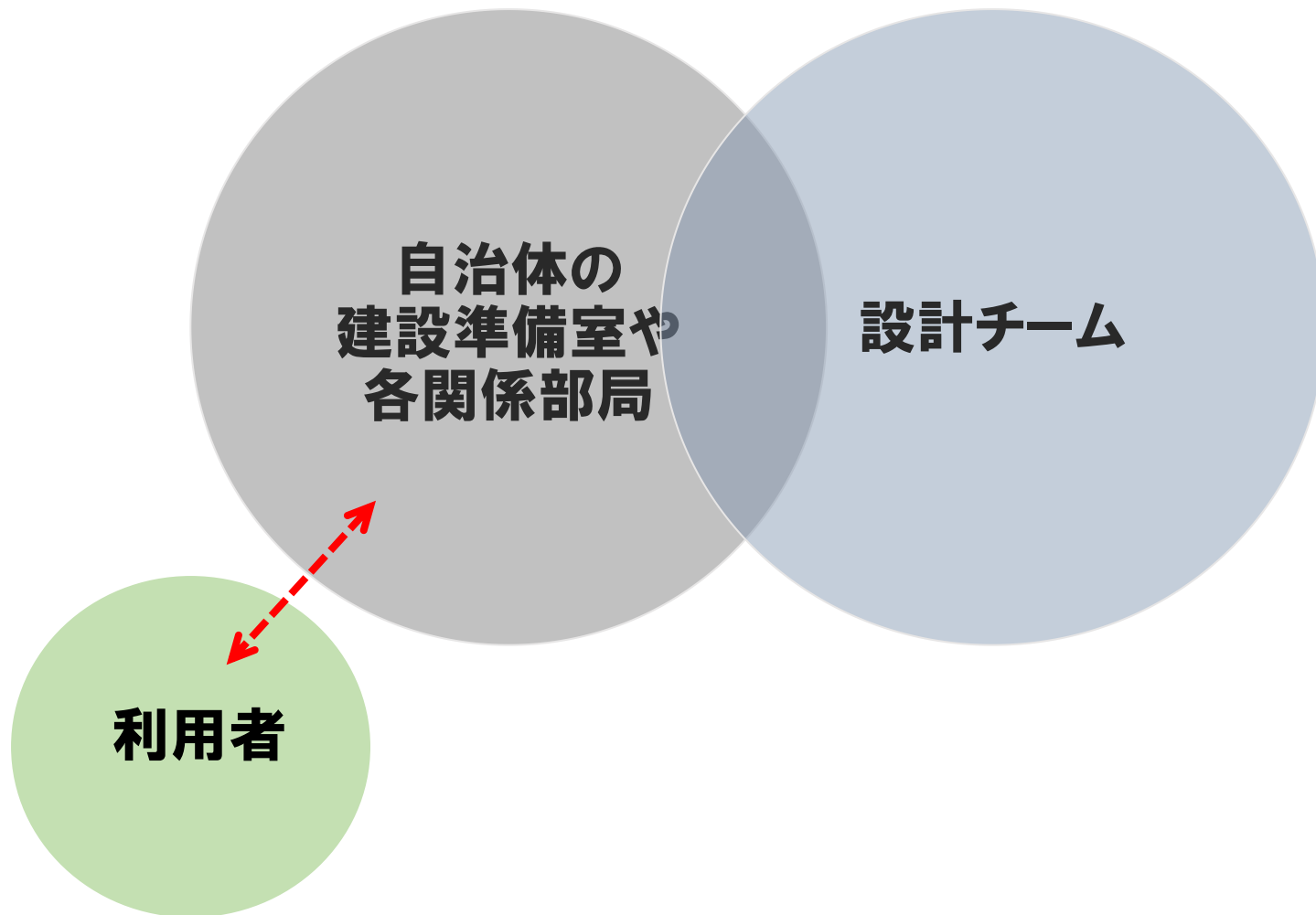
◇工事期間中の出張所、図書館分館、南部みんなの広場は、できるだけ皆様のご不便をかけないよう、対応策を検討中です。

ワークショップとは？

ワークショップを利用した
参加型設計とは？

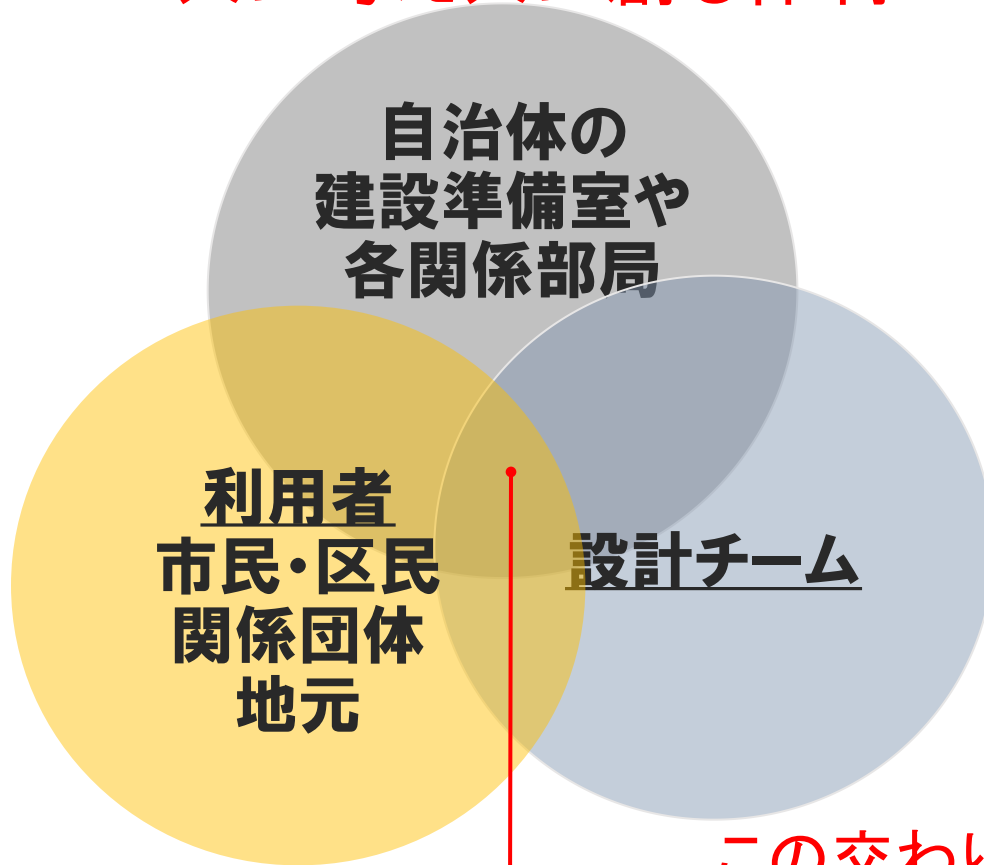
行政・利用者・設計者が、利用者本位の施設となること等を目指して、設計段階において、一堂に会して計画条件や計画案を議論し、利用者意向を計画に反映する設計手法。

従来の公共施設の設計体制



参加型設計体制

共に考え共に創る体制



この交わりが大きいほど
「参加の程度」が高い

利用者が施設作りに参画する事は当たり前になりつつある。

10年かけて計画が実現した事例



宮城県仙台市の事例

6～8人くらいのグループで話し合う。

山口県下松市の事例



ワークショップ年間スケジュール

第1回 南部近隣センターの未来を考える！ 10/21

アンケート結果から現状把握、付加したい機能の抽出

類似施設見学会 11/19

第2回 新しい近隣センターの「売り」を考えよう！ 12/2

「売り」は何か？それによるメリットは何か？

第3回 使うのが楽しくなるゾーニングを考えよう！ 1/28

部屋の機能やつながりを模型で確認しながら議論

第4回 少し見えてきた！新しい南部近隣センター 2/24

必みんなで作ったゾーニング図を発表します

第5回 デザインや材料も決めよう 3/25

模型によりデザイン、材料、色彩のバリエーションを検討

第6回 できました！新しい南部近隣センター！ 平成30年6月頃

コンセプト、階数、部屋面積、部屋のつながり等々を決定

報告会 平成30年7月頃

ワークショップを進めるためのノウハウ

参加者のご意見をできるだけ多く伺うために、10人以下のグループに分けて議論します。

建築の専門的な言葉は極力使わず、一般的な言葉でわかりやすく説明します。

グループ議論のルール

記入用紙にメモ書き

→ 個人意見の発表

→ 全員が発表後に意見交換

→ グループ意見のまとめ

→ 全員に意見を述べてもらうことができる

ステップ 3

「私が参加した理由は……」

自己紹介カード

お名前：

今回のワークショップに参加した理由を教えてください



例えば…

南部近隣センターに
こんな場所があったらいいなあ

ワークショップに
興味があった！

友人に誘われて…

作業の手順

- 「自己紹介カード」に参加理由や意気込を記入。
記入時間は30秒程度。
- 全員記入後に、リーダーが司会役となり順番に発表。
発表時間は1人当たり1分程度。
→ 名札を見せて名前を覚えてもらいましょう！
- 共通の参加理由、問題意識のまとめ。
- 今日の班名は動物の名前です。みんなで話し合っ
て決めて下さい！

ステップ 4

南部近隣センターの
今までとこれからを語ろう！

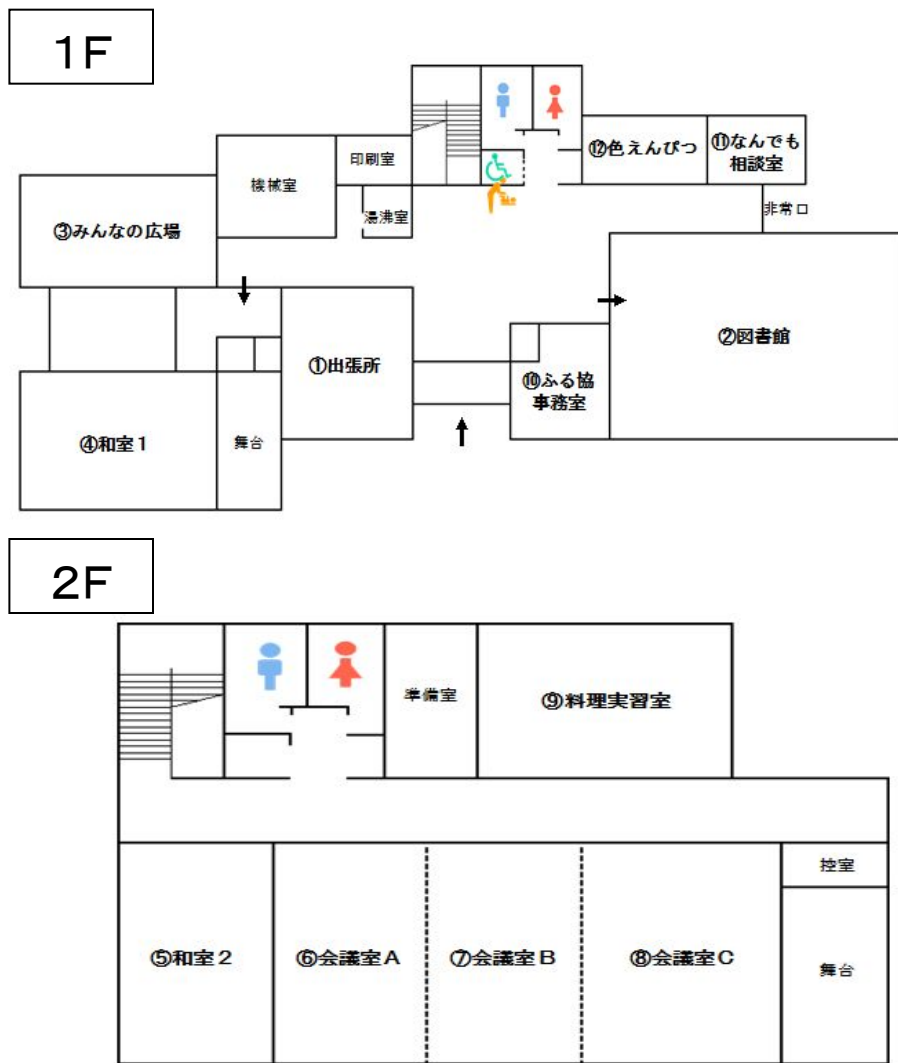
南部近隣センターの紹介

立地と現在の業務
改修にあたり知っておいてほしいこと

南部近隣センターの立地

名 称	南部近隣センター
開設年月日	昭和54年3月30日
場 所	柏市新逆井2-5-13
面 積	延べ床 1,498m ² (2階建て)
用 途 地 域	第一種低層住居専用地域
目 的	低層住宅の専用地域
用 途 制 限	地方公共団体の支庁・支所 ⇒条件付きで建築可600m ² 以下 図書館 ⇒建築可 店舗・飲食店・カフェ ⇒建築不可

南部近隣センター配置図



No	施設	所管	面積(m ²)
①	出張所	市(市民課)	70.2
②	図書館南部分館	市(図書館)	191.4
③	みんなの広場	市(子育て支援課)	112.4
④	和室1	南部近隣センター	68.0
⑤	和室2	〃	31.0
⑥	会議室A	〃	70.0
⑦	会議室B	〃	52.0
⑧	会議室C	〃	52.0
⑨	料理実習室	〃	63.0
⑩	ふるさと協議会事務室	南部ふるさと協議会	33.0
⑪	なんでも相談室	〃	23.2
⑫	色えんぴつ	〃	29.6

施設と業務の紹介(1)

<p>南部出張所 (近隣センター事務室)</p>	<p>出張所業務(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none">・住民票・戸籍抄謄本の発行・住民票異動や戸籍届の受理・税の収納、国民健康保険料・介護保険料等の収納 <p>近隣センター管理業務</p> <ul style="list-style-type: none">・施設管理、会議室等の貸出し	<p>①</p>
<p>図書館分館</p>	<p>市内16の図書館分館の一つ。一般書約2万2千冊、児童書約1万5千冊、計約3万7千冊の蔵書を保有</p> <ul style="list-style-type: none">・資料の収集、保管・図書・雑誌・新聞の閲覧、貸出返却・予約・リクエストサービス等	<p>②</p>
<p>みんなの広場</p>	<p>0～18才までの子どもたちが遊びながら過ごせる場の提供</p> <ul style="list-style-type: none">・乳幼児親子対象「0才のじかん」「はぐはぐタイム」など・「ふれあい囲碁サロン」「みんなの喫茶(地域主催)」など	<p>③</p>

施設と業務の紹介(2)

<p>和室1、2・会議室 ABC・料理実習室</p>	<p>地域やサークル活動に貸し出し <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間は3時間ずつ1日4区分 ・地域の団体は半年前、登録団体は2ヶ月前から予約できます </p>	<p>④ ～ ⑨</p>
<p>ふるさと協議会</p>	<p>南部ふるさと協議会事務室 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと協議会の活動拠点 ・パソコン・コピー機、ロッカー等の備品、会議用テーブル・椅子があります。 <p>色えんぴつ <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の居場所として、ボランティアのかたが子どもたちに勉強を教えたり一緒に遊んだりしています。 <p>なんでも相談室 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアのかたが、市民の日常の悩み事や相談事に対し、一緒に親身に考え、専門機関の紹介などを行っています。 </p> </p></p>	<p>⑩ ～ ⑫</p>
<p>防災機能</p>	<p>南部近隣センターは、災害発生時における「地区災害対策本部」及び「避難所」としての役割があります。</p>	<p>全館</p>

(参考)福祉関係相談窓口の紹介

<p>ちいき♡いきいきセンター (※市内5箇所の近隣センターにあります)</p>	<p>布施、松葉、豊四季台、光ヶ丘、高柳近隣センターには、身近な福祉の相談窓口として、「ちいき♡いきいきセンター」が設置されています。(週3日開設)</p> <ul style="list-style-type: none">・福祉総合相談・住民参加型有償サービス・ボランティアコーディネイト など
<p>柏南部地域包括支援センター (※リフレッシュプラザ内にあります)</p>	<p>市内9箇所に地域包括支援センターがあり、南部地域では、リフレッシュプラザ内に「南部地域包括支援センター」があります。</p> <p>高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるように保険・医療・福祉の専門職がさまざまな相談と支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none">・総合相談支援・権利擁護・包括的継続的ケアマネジメント支援 など

改修にあたり知っておいてほしいこと

【エレベーターの設置に関して】

既存建物の中に設置

・エレベーターの分、施設として利用できる床面積が狭くなります。

既存建物に外付け

・建物全体の延床面積が増え1,500平方メートルを超えるため、消防設備の設置が新たに必要となります。

【耐力壁に関して】

耐震上の数値の維持、確保

耐震性の維持・確保のため、耐力壁(地震や風などの加重に抵抗する壁)が必要であり、変えられる間仕切りと変えられない間仕切りがあります。

耐力壁の見極めは、ワークショップと並行し、設計業者が行います。

アンケート結果を判断するポイント

客観的判断と主観的判断のバランス

1. 同じ条件で得られたデータか？
2. データ数は適切か？
3. どのようなデータを「良い」と評価すべきか？



データから見えているものを全員で共有化する

客観的判断



個人の考えを入れ込む

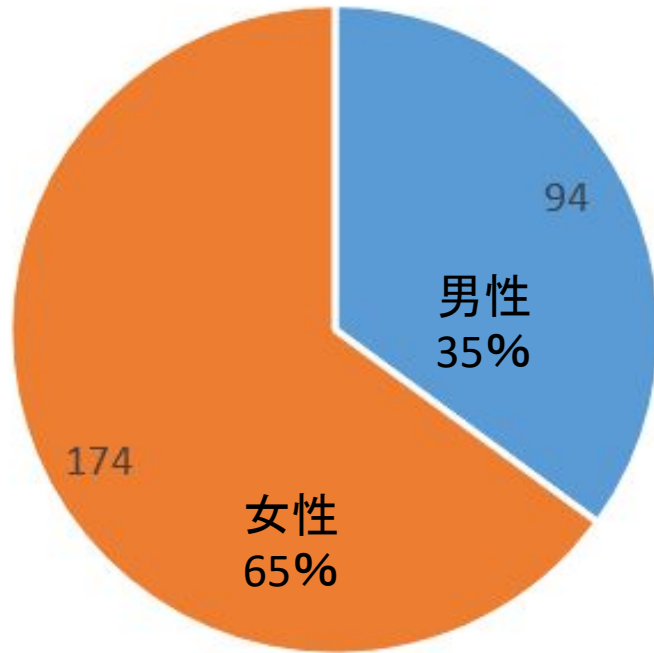
主観的判断

アンケート調査の概要

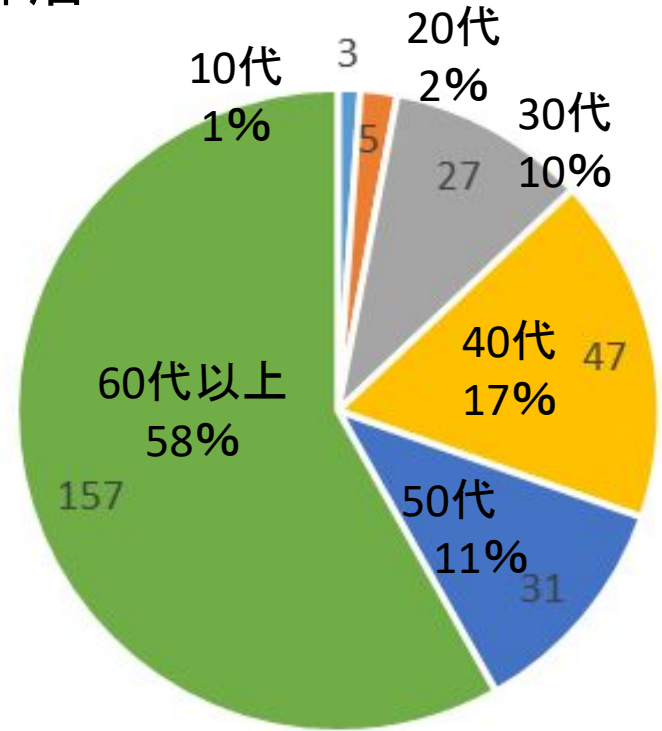
- ・実施時期：平成29年8/18～9/8
- ・対象：市民アンケート
南部地域在住15歳以上無作為抽出1,000人に郵送発送・回収
利用者アンケート
来館時に記入してもらい回収ボックスで回収
- ・回収数：市民アンケート 403データ 回収率 40.3%
利用者アンケート 273データ
- ・市民アンケート設問
：性別/年齢/住所/手段/頻度/利用人数/
利用施設/利用目的/
既存に対する不満/新施設に欲しい機能/自由記述
- ・利用者アンケート設問
：性別/年齢/家族構成/南部センター認知有無/利用の有無/
手段/頻度/利用目的/利用しない理由/
現状に対する不満/新しい施設に欲しい機能/自由記述

利用者アンケート結果 1

性別/年齢層



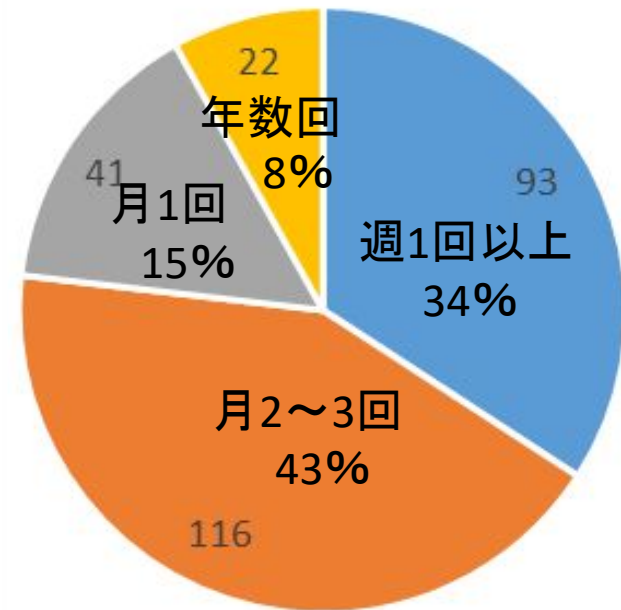
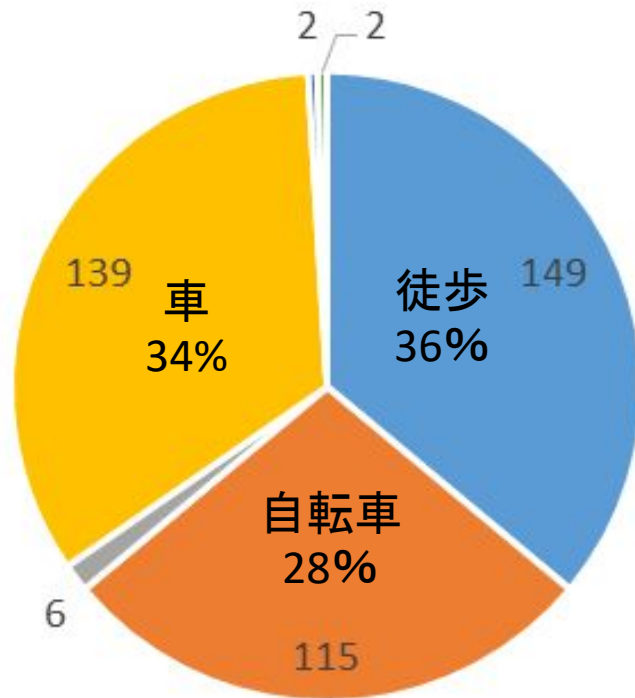
■ 男性 ■ 女性



■ 15~19歳 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

・性別は女性が多く、年齢層は過半が60代以上で10~20代の若い世代の利用少ない
→ 若い人の利用を増やすべきか？利用世代は今のままで良いのか？

利用者アンケート結果 2 手段/頻度



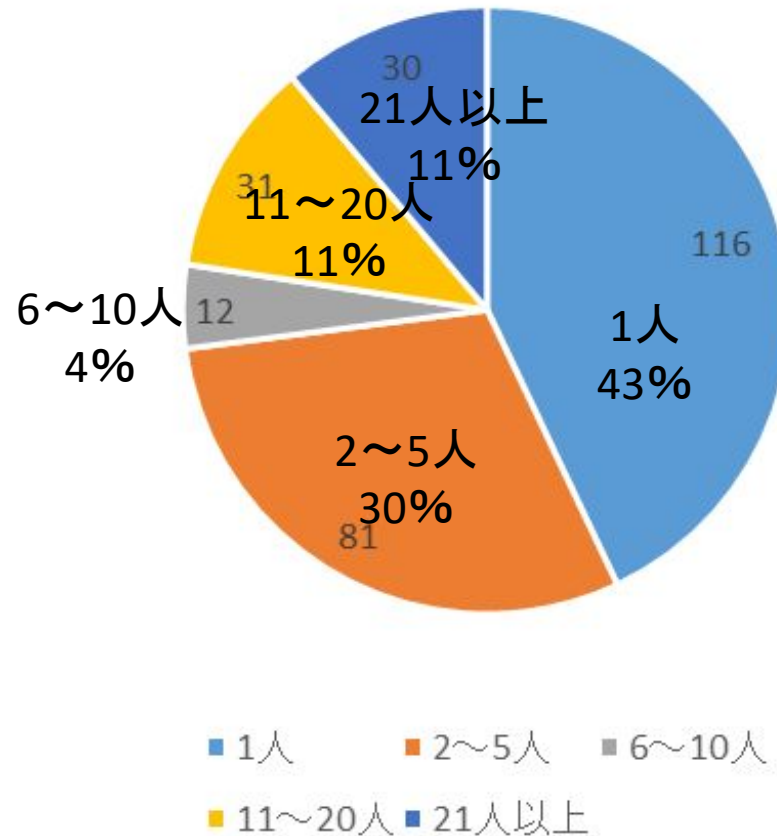
注: 車利用のうち6%は家族が送迎

- 徒歩
- 自転車
- 原付・バイク
- 車
- バス・タクシー
- その他

- 週1以上
- 月に2~3回
- 月に1回
- 年に数回他

- ・利用手段は、徒歩、自転車、車が多い。
 - 駐車台数で利用者数・利用者範囲が決まっている可能性あり。
- ・利用頻度は、月に2~3回が4割強と多く、次いで週1回以上3割強。
 - どれくらいの頻度が「良い」と言えるのか？住民の判断、市の判断。

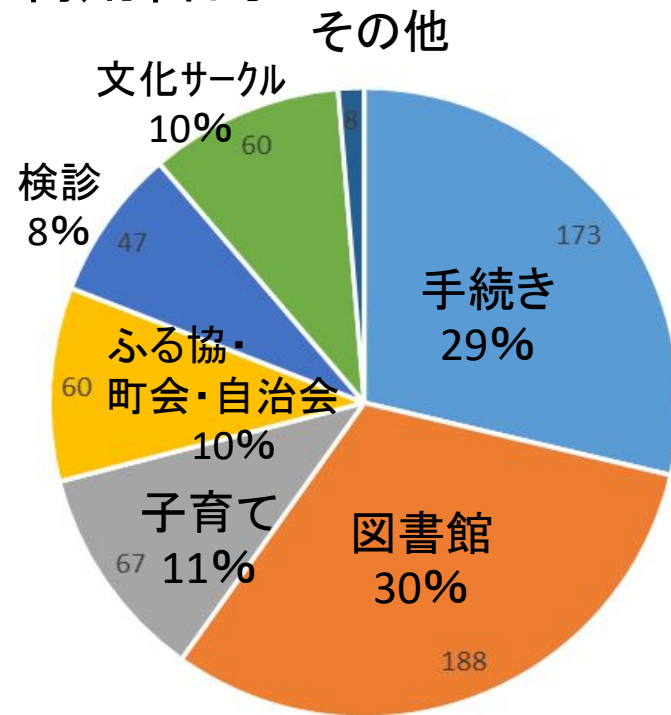
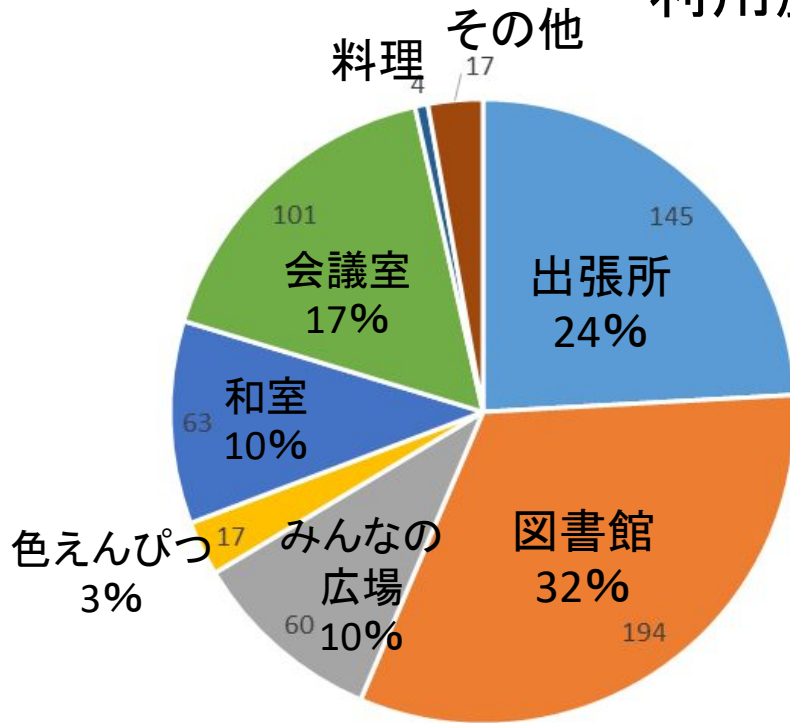
利用者アンケート結果 3 利用人数



・利用人数は、1人が4割強、2~5人が3割、21人以上1割強。

→ このデータからどのような判断ができるか？ 良いのか？ 悪いのか？

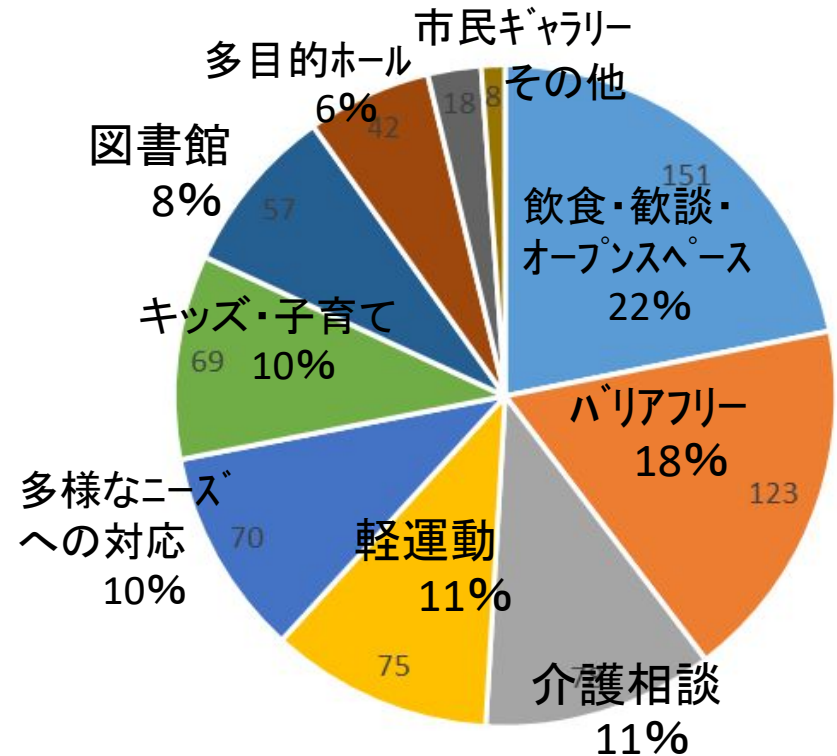
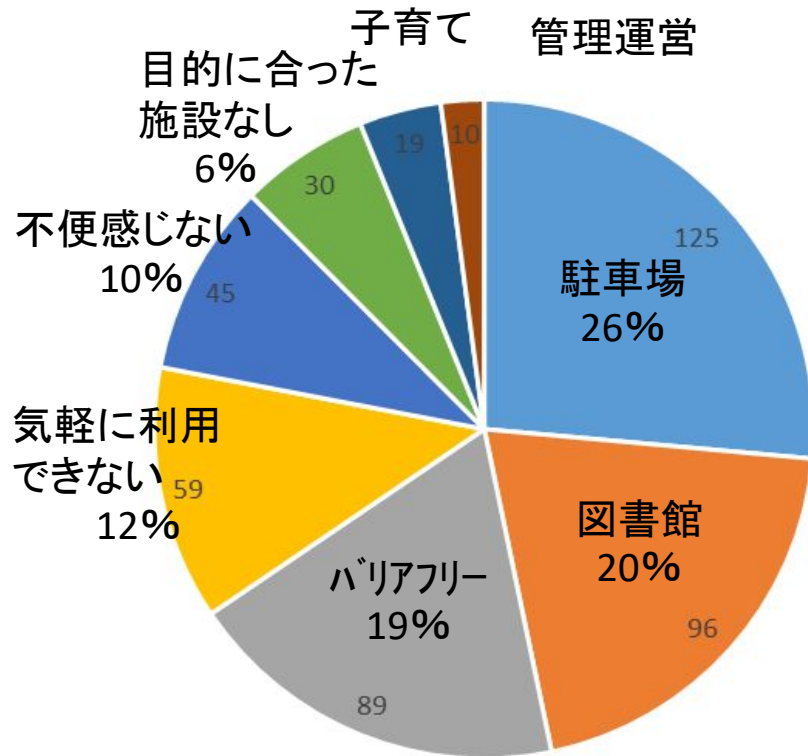
利用者アンケート結果 4 利用施設/利用目的



- ・利用施設は、図書館3割強、出張所2割強、この2施設で6割弱。料理実習室少ない。
→ このデータからどのような事が言えるか？
- ・利用目的は、図書館3割、手続き3割弱、この2施設で6割弱。子育て・町会等・検診・文化サークルが各1割ずつ。
→ このデータからどのようなことが言えるか？
例えば、図書館と出張所は使われている。料理実習室は使われていない。

利用者アンケート結果 5

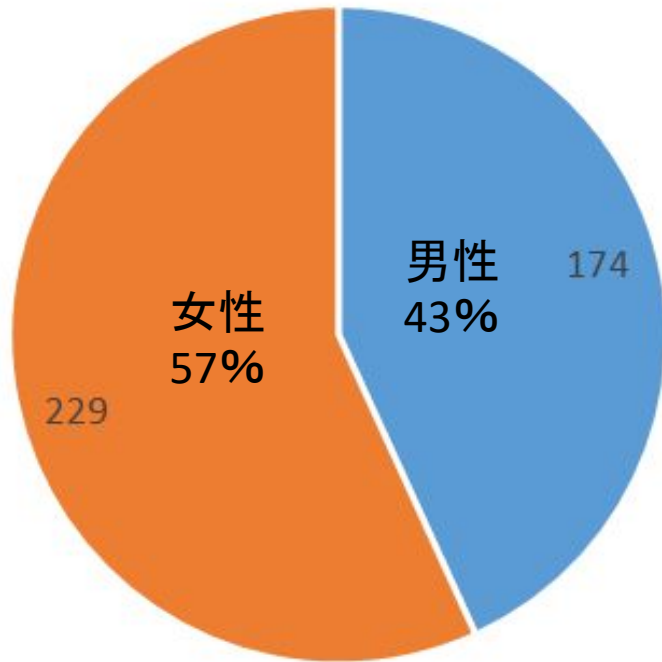
現状の問題点/将来の欲しい機能



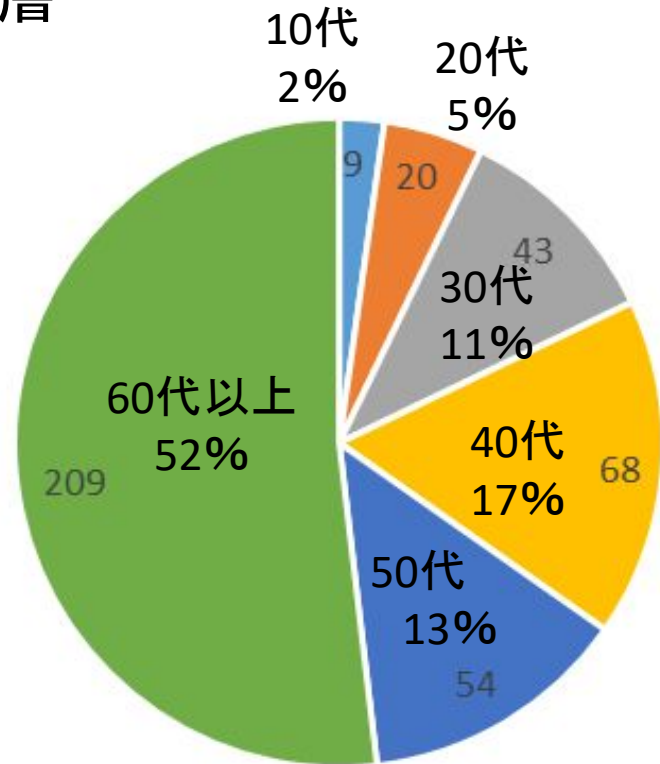
- ・現状の問題点は、駐車場狭い、図書館、バリアフリーで6割強。「気軽に利用できない」と「目的に合った施設なし」合計が2割弱。
 - 駐車場広ければ利用者増える可能性あり。図書館は潜在的な利用需要あり。「気軽に利用できない」と「目的に合った施設なし」の具体的な意見出してもらう。
- ・欲しい施設は、飲食・歓談・オープンスペース2割強、バリアフリー2割弱、介護相談・軽運動各1割
 - この結果も参考にしながら、ステップ4で意見を出してもらう。

市民アンケート結果 1

性別/年齢層



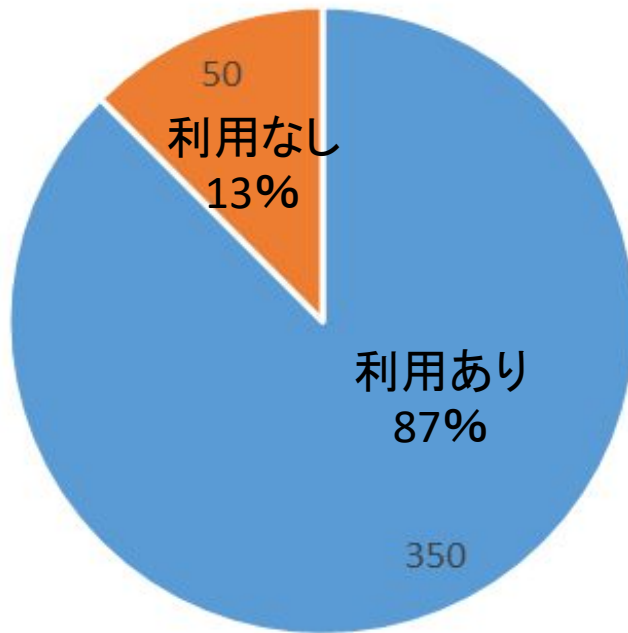
■ 男性 ■ 女性



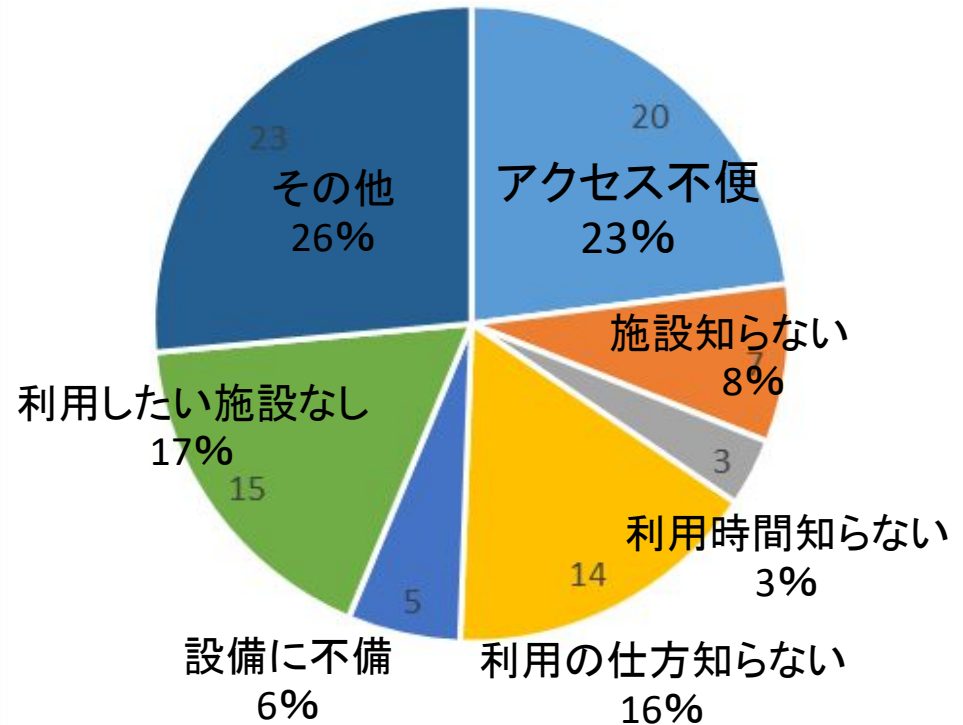
■ ~19歳 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

- ・性別は女性が多く、年齢層は過半が60代以上で10~20代の若い世代の利用少ない
→ 利用者アンケートより若い人の比率が増えている点に注目

市民アンケート結果 2 利用の有無/利用しない理由



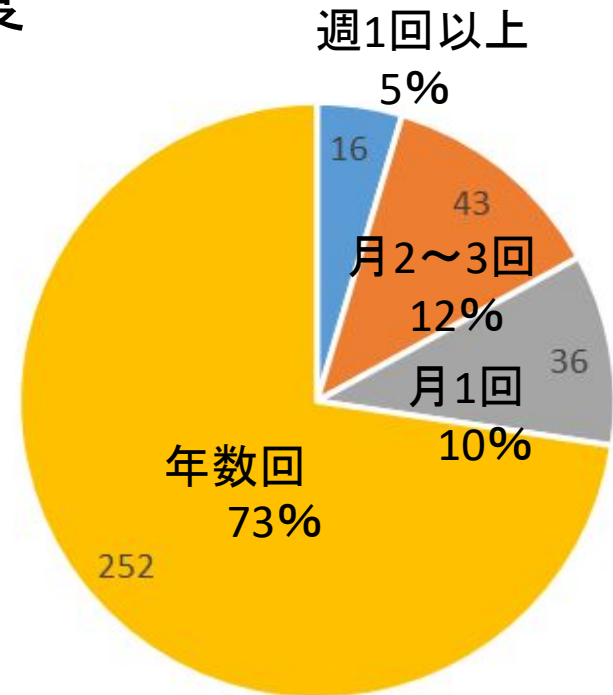
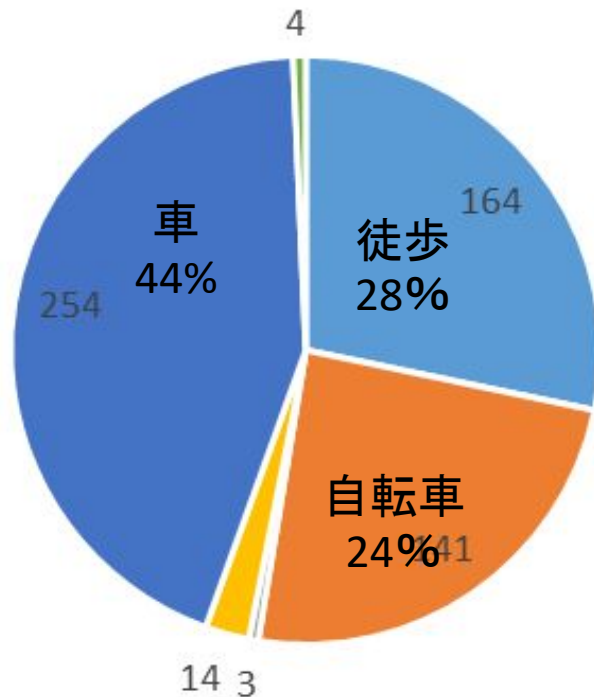
■あり ■なし



■アクセス不便 ■施設自体知らない
■利用時間がわからない ■利用の仕方わからない
■設備に不満 ■利用したい施設がない
■その他

- ・利用しない理由は「アクセス不便」と「利用したい施設なし」で4割。
→ アクセス向上と利用者ニーズ喚起で利用者増を図れるかも。

市民アンケート結果 3 手段/頻度



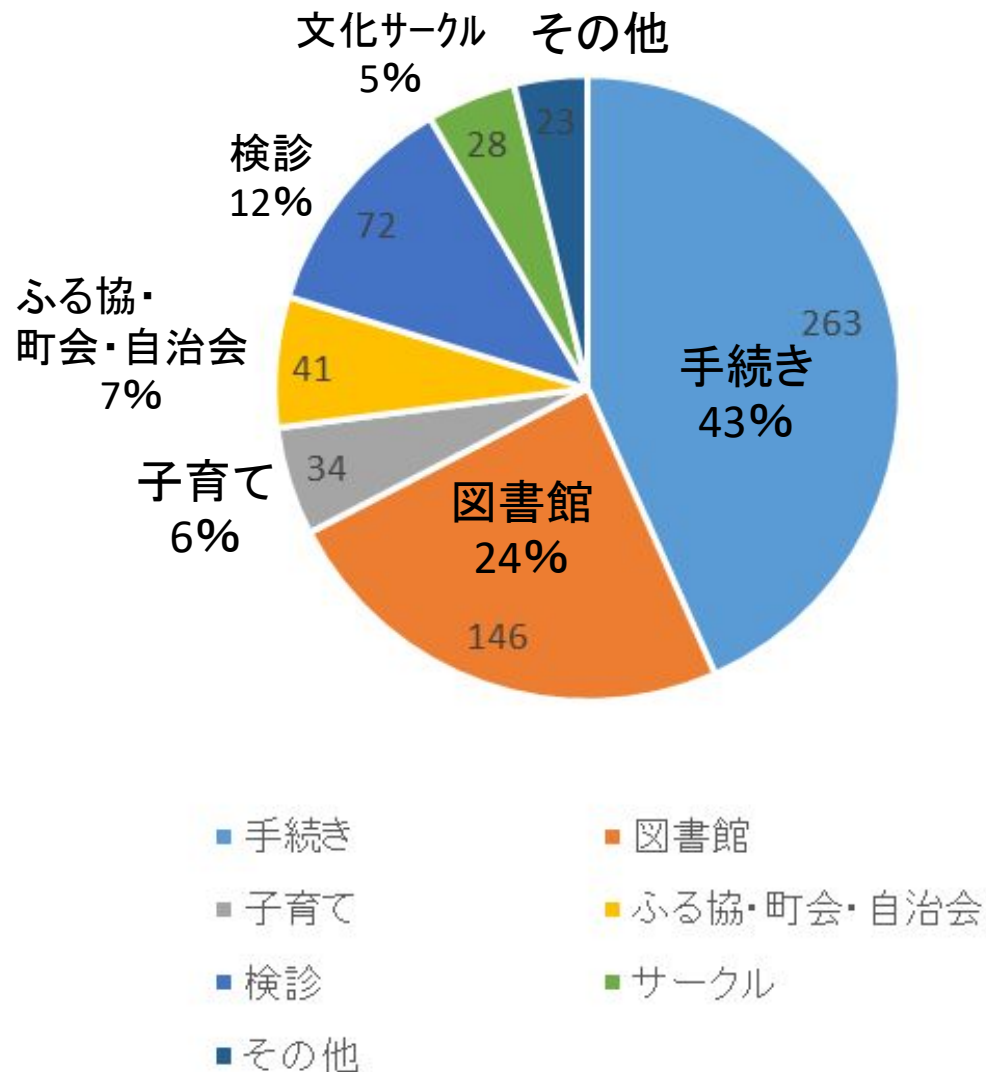
注: 車利用のうち6%は家族が送迎

■ 徒歩 ■ 自転車 ■ バス・タクシー
■ 原付・バイク ■ 車 ■ その他

■ 週1以上 ■ 月2~3回 ■ 月1回 ■ 年数回他

- ・利用手段は、車が多く、次いで徒歩、自転車。
→ 市域全体から集客する際には駐車場が決め手となる。
- ・利用頻度は、年に数回が多い、次いでぐっと下がって月2~3回。
→ 利用者アンケートと顕著な差あり。市域全体からの来館者の頻度は少ない。

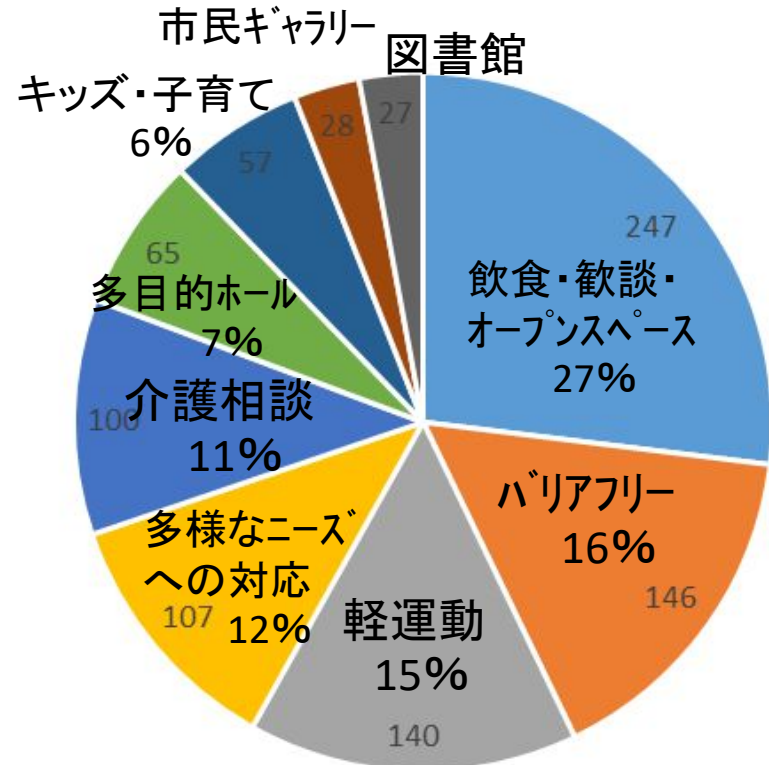
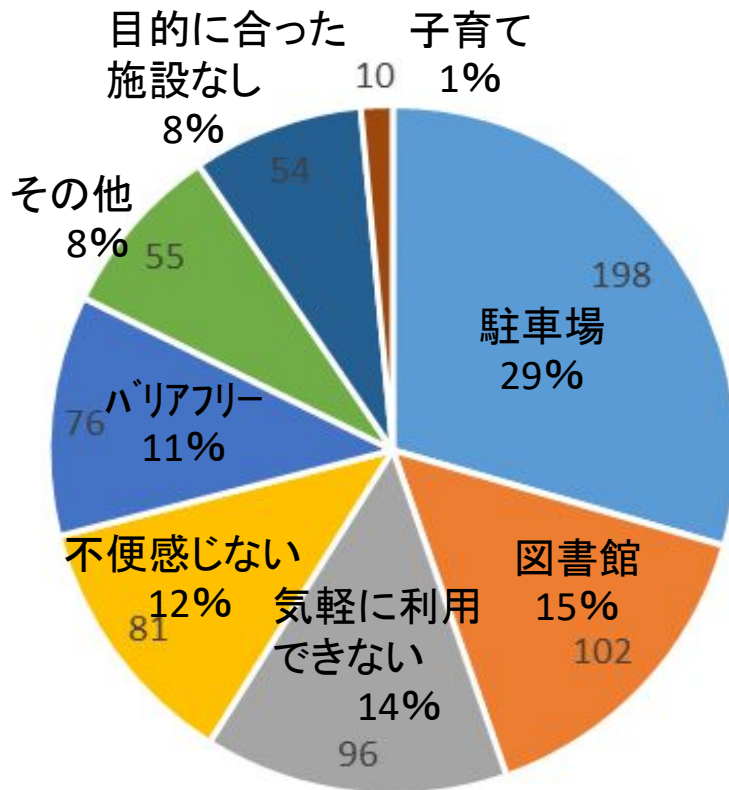
市民アンケート結果 4 利用目的



- ・利用目的は、手続き4割強、図書館2割強、この2施設で7割弱、検診1割強。
→ 市域全体からの来館者は出張所、図書館利用が多い。

市民アンケート結果 5

現状の問題点/将来の欲しい機能



・現状の問題点は、駐車場狭い、図書館で5割弱。「気軽に利用できない」と「目的に合った施設なし」合計が2割強。

→ 市民アンケートでは駐車場への不満多い。

・欲しい施設は、飲食・歓談・オープンスペース3割弱、バリアフリー2割弱、軽運動1割強、介護相談1割、「多様なニーズへの対応」と多目的ホールの合計が2割強ある。

意見記入シート：「南部近隣センターの未来を考える！」

お名前： _____

あなたは南部近隣センターにどんな機能がほしいですか？

何がしたい？

どこの部屋で？

例：料理教室に参加する

調理室実習室

この場所での
エピソードなど…。
南部近隣センターのことを
教えてください！



家族や友人になりきって、南部近隣センターにどんな機能がほしいですか？

だれ？

何がしたい？

どこの部屋で？

例：孫

本の読み聞かせ

図書館

既存施設の重みづけ、優先度をご記入ください。(1～9)

出張所 図書館 みんなの
広場 和室 会議室 料理実習室 ふるさと
協議会 相談室 色えんぴつ

作業の手順

- 「なりきり意見記入シート」に「何を行いたいか」、そのためには「どんな部屋・機能が**必要か**」記入。
- 本人以外に1名想像して記入。
- 新たな施設だけでなく既存施設が「このように変わったら使うよ」でも良い。
- 既存施設の重みづけ、優先順位を示す。
記入時間は5分程度。

- 全員記入後に、リーダーが司会役となり順番に発表。
発表時間は1人当たり2分、全体で20分程度。
 - * 書記は意見をポストイットに記入し模造紙に貼っておくと便利

- 共通の意見、多い意見を認識しあう。少ない意見でも、採用したい意見を選び出す。既存施設の重みづけ、優先順位を示す。

- 発表者を決め、模造紙に記入し発表の準備をする。

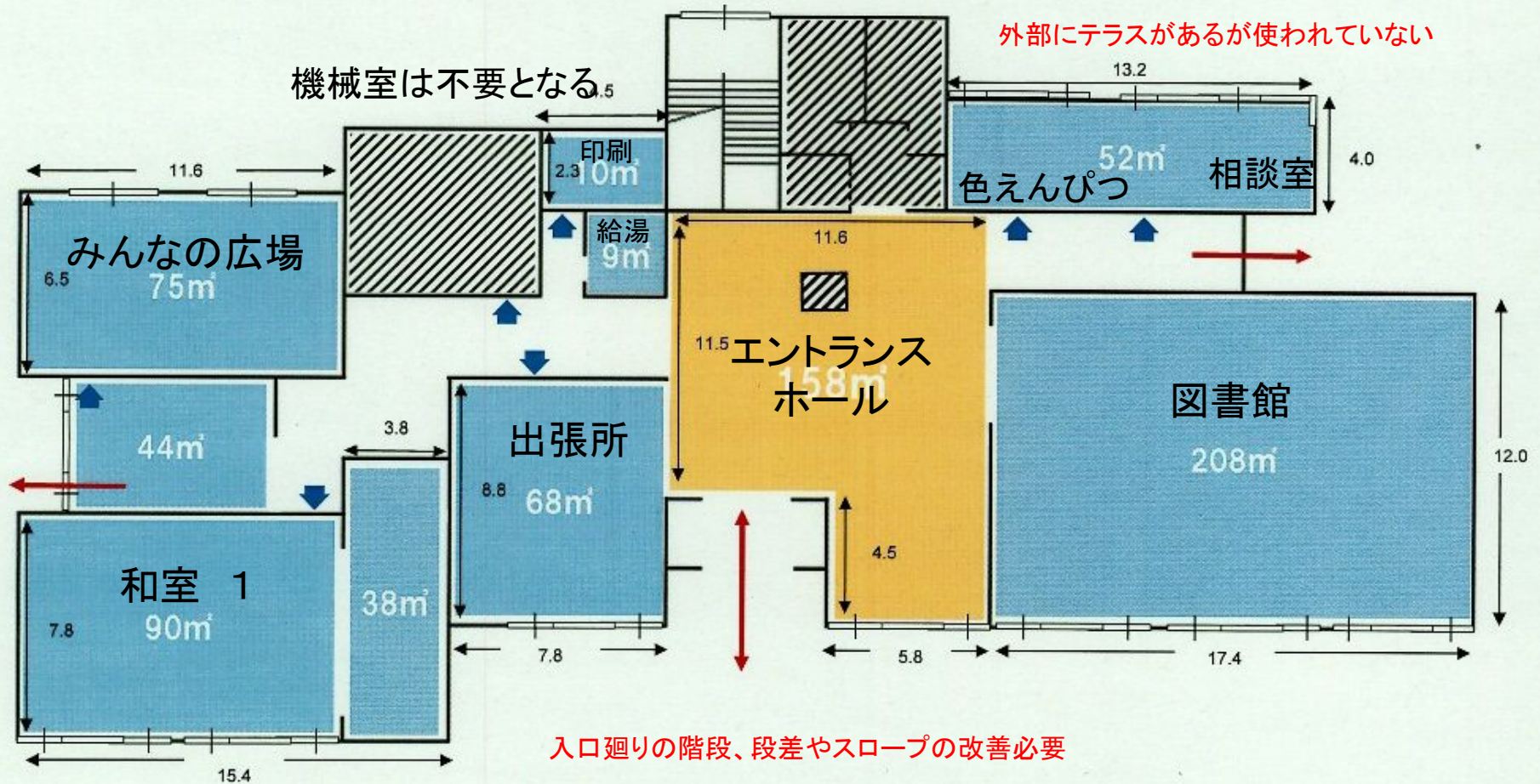
意見出しのポイント

- 来館アクセスの改善
駐車台数/駐車場からのルート/
雨の日も濡れずに入出りできる/
荷物搬入のしやすさ
- 入りたくなる、使いたくなる雰囲気改善
道路から・公園から・駐車場からの見え方
- 出入り口の改善
客用(道路から、公園から)出入り口/
搬入用出入り口/
- 既存施設の改善
面積増/間仕切り位置変更/開口部変更/
機能追加/内装改善/什器備品改善/
- 新しい施設の提案



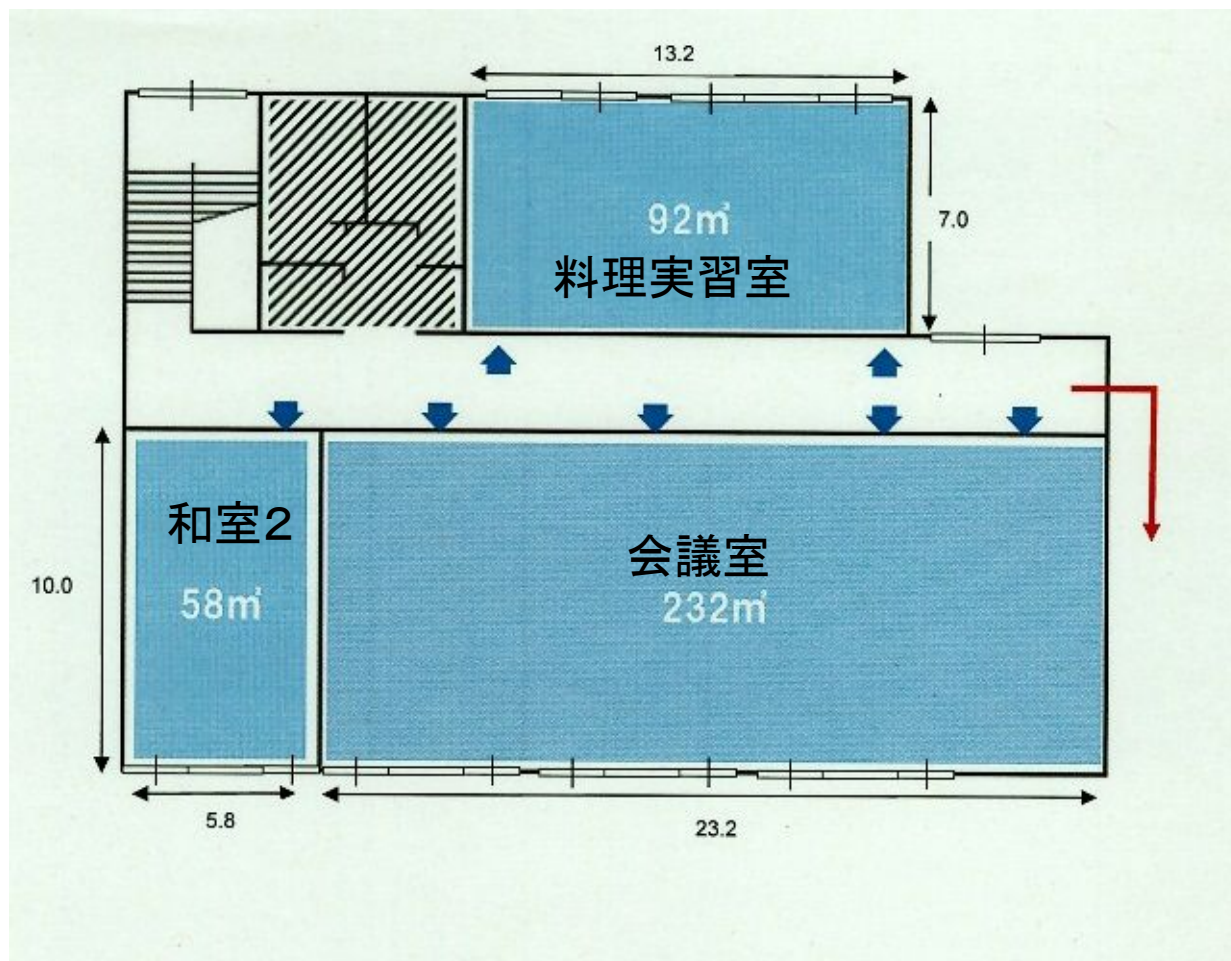
今回の提案範囲は、建物敷地内に限るが、センター駐車場のみでなく、公園や公園駐車場とのスムーズな連携を実現させたい。

既存1階平面図：有効面積750m²程度



- どの壁が撤去できるのか？ → 「撤去できる壁」の情報は次回WSで提示。
- 廊下は残すのか？ → 屋外へ繋がる廊下は避難や搬入のために確保する必要あり。
- 機械室は別の用途で使えるか？ → 空調方式を変更するために使える予定。

既存2階平面図：有効面積380m²程度



トイレは残すのか

→ 既存位置で残す方法もあり、別位置に移動もあり得る。但しコスト増となる。



南部出張所：1階、70m²、職員8名

図書館南部分館：1階、191m²、蔵書数3.7万冊



みんなの広場：1階、112㎡、0～18才までが対象



会議室A～C:2階、A:70m²、B:52m²、C:52m²





和室1:1階、68m²



和室2:2階、31m²



料理実習室:2階、63m²

ステップ 5

全体発表と質疑応答

作業の手順

- ・「どんな部屋・機能が必要か」について各班が発表する。
- ・発表は、「多く出た意見」、「少ないけれど採用したい意見」とする。
- ・既存施設の重みづけ、優先度を示す。
- ・発表時間は7分。他班からの質疑1分。

END